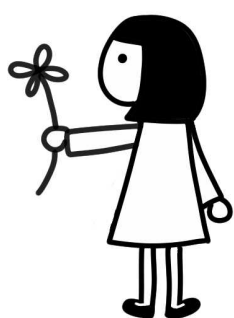


さくら



令和6年11月20日(水)

時にかなって美しい



教員になって数年後、転職することを決めました。自身の能力に限界を感じたからです。大学では金属加工の勉強をしていたので、その道に進もうと、ある企業の入社試験を受け合格しました。迷いはありませんでした。

その後、担任をした教え子たちと会う機会があり、教職を辞することを伝えたところ、みんな一様に驚いていました。その中にいたAさんが、私に次のように伝えてくれました。

「先生、今は何か辛いことがあるかもしれないけれど、それは神様が先生にお与えになったものです。神様は人に乗り越えられることしかお与えにならないんです。だから、私は先生が今の仕事を続けてくれることを強く願っています。これは、聖書に書いてある、『神様のなさることは、すべて時にかなって美しい』という教えです。思い留まってください」

なぜかその言葉が心に突き刺さり、今の私があります。

Aさんは敬虔(けいけん)なキリスト教徒でした。「時にかなって美しい」に続く言葉があります。「神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない」

私たちは、身の回りで起きている出来事や、これからのことで不安になることがあります。しかし、人には身の回りで起こる全ての出来事をコントロールすることはできません。すべての出来事には定まった時期があり、嬉しいことも悲しいことも偶然起きるのではなく、私たちが乗り越えられるものとして神様がお与えになるそうです。

ですから、私たちは目の前で起こるさまざまな出来事に対し、一喜一憂することなく、美しい未来を思い描きながら、一日一日を懸命に生き抜くことが大切なのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。



